事業	事務事未計1111ン一ト(事後計11111) 事業コード 事務事業名 7-3-1 めぐみちゃんメニュー認定事業			¥.			所管部課 生活文化スポーツ部 産業振興課					
	事務事業の目的 根拠法令等											
事務事業の概要	西東京市内産の農産物を使用した飲食物(加工品・土産物を含む。)を飲食店等の協力を得てメニュー化し、消費者等へ提供することにより、農業振興を図るとともに、地域経済の活性化を促進する。											
	事業内容・実施方法等 基準の有無・対象者抗											
	本事業は、平成25年度から開始しており、商工業者と農業者のマッチングによるメニューに認定に加え、①市民参加型事業及び ②市民交流事業等を実施し、事業の周知拡大及び地産地消への興味拡大を図っている。 具体的な取組としては、農業者及び商工業者の募集並びに認定、事業者を対象とした交流会の開催支援、メニュー提供店及び参加農業者PRツールの制作並びに配布、事業普及啓発用のチラシ等の発行、専用ホームページの作成、市民交流型イベント(食べ歩きキャンペーン・直売所スタンプラリー・西東京マルシェ)の実施、事業者へのアンケート調査等を実施している。											
		(予算事業名 06.01.03.02食と暮らしを支える農業支援事業費(めぐみちゃんメニュー認定事業支援委託料))										
	事業開始時期	平成2	5 年度	実施形態		委託	□ その他 ()				
	項	目		単位	25年度	26年度	27年度	28年度				
	事業費(A) 国庫支出金·都支出金 財			千円	4,970 3,728	6,247	6,247 1,500					
事業	<mark>内</mark> その他 ()			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
費	訳 一般財源			ľ	1,242	6,247	4,747	4,497				
デー	所要人員(B)			人	0.47	0.47	0.47					
タ	人件費(C)=平均給与×(B)			千円	3,730	3,859	3,730	3,901				
	臨時職員賃金等(C')	·C')		千円	8.700	10,106	9.977	9.898				
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C') 単位当たりコスト			113	0,700	10,100	3,377	3,030				
	(E)=(D)/ (参加商工業者・農業者数)			千円	198	211	200					
評価指	活動等指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度				
	① 参加商工業者・農		実績値	人	44	48	50					
	② 認定メニュー数(5		実績値	件	38	98	163					
	《指標の説明・数値変化の理由 など》 本事業へ参加する商工業者・農業者数及び市内産農産物を活用して調理されたメニューの認定数ともに、毎年度増加している。											
	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度					
標の	ー マルシェ来場	者数	目標値 実績値	人人		600 700	800 1,150	800				
設定	ニ 食べ歩きキャン・	_	目標値	人	100	300	500	900				
~	次 アンケート回答		実績値	人	117	378	858					
	《指標の説明・数値変化の理由 など》 市民交流イベント等の来場者数も増加傾向にあり、事業の周知拡大が地産池消の活性化につながっている。 マルシェ回数・・・平成26年度3回、平成27年度4回実施、平成28年度4回(予定) 食べ歩きキャンペーン・・・平成25年度9/15~11/4、平成26年度7/19~8/31、平成27年度7/18~10/31実施、平成28年度7/23 ~10/29(予定)											
事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)			参加事業者からは、顧客数の増加、顧客層の変化、地産地消への貢献による経営意識の向上等により、本事業の継続を求める意見を多く受けている。 消費者からは、さらなる事業拡大及び情報発信の多様化を求める声が多数ある。								
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)			4 # K	他自治体では、本事業における各種イベント等を単発で行っている事例は あるが、事業者間のマッチングを含めた、総合的な展開事例はない。							
	代替・類似サービスの有無			有 無	代替・類似サービスはない。							

<u>[-</u> ;	次評価】								
	検証項目	ランク	一次評価	〇検証項目、評価の判断理由 〇事業実施上の課題や今後改善すべき点等					
АВ	事業の優先 度(緊急性)	2	□ 拡充	本事業は、第2次農業振興計画に掲げる「地産地消の推進」に基づく事業であり、市内産農産物を活用し、市内飲食店等への販路拡大、農業と商工業等の分野を超えた連携による農産物の消費拡大を図ることを目的に、平成25年度から実施している。					
	事業の 必要性 事業主体	2	☑ 継続実施	これまでの実績として、参加商工業者・農業者数、認定メニュー数、市民交流型事業等への参加者数等、全ての実績数値が増加傾向にあり、事業の認知度が確実に向上していると認識している。加え					
	の妥当性 直接のサービ	2	□ 改善・見直し	て、事業者及び消費者双方から、事業の継続及びさらなる拡大に向けた意見が、アンケート等から多く見られている。 また、平成28年3月に策定された「西東京市まち・ひと・しごと 創生総合戦略」においても、本事業					
	スの相手方 事業内容等 の適切さ	2	□ 抜本的見直し	におけるメニュー認定数の増加が、重要業績評価指標(KPI)に掲げられており、今後本市のまちづくりにおいて、重要な事業として改めて位置付けられた。 今後は、本事業の意義を生産者等にさらにPRすることで、参加商工業者・農業者を増やし、またメ					
	受益者負担 の適切さ	1	□ 休止	ディアを活用したさらなる情報発信により、消費者への周知を拡充する。さらには、イベント実施会場 期間等の見直しや、他課の事業とのマッチング等も視野に入れ、本市のブランド事業としての確立を					
C	市民ニーズの把握	3	□ 廃止	図っていく必要がある。					
検証.	項目の見万 A:	事業	美施の意義を検証する	5項目 B:事業の内容·実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目					
<u></u>	次評価】								
	検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等					
Α	事業の優先 度(緊急性)	2	□ 拡充	本事業は、市内産の農産物を使用した飲食物等を市民へ提供することにより、農業振興を図りながら、地域経済の活性化を促進することを目的としており、その充実が市民からも期待されている事業であり、効率的・効果的な運用が求められる。					
	事業の 必要性 事業主体	2	□ 継続実施	広報については、参加者等によるSNSなどを活用した自発的な広報、情報の拡散を促すことで、さらなる相乗効果が期待できる。また、ブランド事業の確立については、現状では参加店舗の増加に重点が置かれているが、「安全・安心」などをキーワードとした評価基準や体制の確立などについて検討す					
	の妥当性 直接のサービ	2	☑ 改善・見直し	る必要がある。 今後も、情報提供を積極的に行うとともに、健康課などとの連携を強め、本市のめざす「健康」応援					
В	スの相手方 事業内容等 の適切さ	2	□ 抜本的見直し	都市を推進する事業とする必要がある。また、指定管理者制度を導入している公園や体育施設などとの効果的な連携についても併せて検討されたい。					
	受益者負担 の適切さ	1	□ 休止						
C +⇔≣∓⊺	市民ニーズの把握	3	■ 廃止 ■ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 					
快祉·	頃日の兄刀 A∶	争未为	夫他の息我を快証する	3月日 B: 事未の内谷・夫旭万法を快証する項目 C: 印氏――人の反映度を快証する項目					
【外:	部評価】								
	外部評価			評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等					
	拡充 継続実施 改善・見直し								
□ 抜本的見直し □ 休止 □ 廃止									
			<u> </u>						
	革本部評価】 行基本部評価	.		評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等					
	行革本部評価			計画の判例注出及の事業表配上の味趣で予復以苦りへる思寺					
│									
┃ □ 継続美施 ┃ □ 改善・見直し									
□ 抜本的見直し									
	休止								
□ 廃止									
改氰	善の方向性・ ケジュール								